**LM1 Silberstein（LM1 シルベスタイン）**

**真剣に時計製作に取り組み、真剣に遊び心を追求**

LM1 Silbersteinのケース胴部、ラグとラグの間には、ギュスターヴ・フロベールの名言　「*Le vrai bonheur est d'avoir sa passion pour métier*」がフランス語で刻印されている。「真の幸福とは、情熱を注ぎ込める仕事を持つことだ」という意味だ。

この言葉は、ある2人の人物にとって特別な意味を持つ。その2人とは、熟練したインテリアデザイナーとしての安定した職を辞して自らの時計ブランドを立ち上げたフランス人時計デザイナー、アラン・シルベスタイン、そして有名ブランドのCEOとして成功を収めながら、その安定した地位を捨てて独自のクリエイティブラボを設立したMB&Fの創業者、マクシミリアン・ブッサーである。

2009年、MB&Fは、自社の既存のマシンを社外のアーティストやデザイナーがアレンジする「パフォーマンスアート」シリーズの最初の作品の製作をシルベスタインに依頼。その結果として誕生したのがHM2.2 ‘Black Box’（HM2.2 ‘ブラックボックス’）で、その後、他の多くのクリエイターとのコラボレーションにより様々なモデルが製作されることになる。今回の新しいパフォーマンスアート・モデルにおいてシルベスタインは、MB&Fの代表的なマシン、Legacy Machine No.1（レガシーマシーンNo.1）をベースとして使用し、そこに類いまれな才能を駆使して斬新なスタイルを実現した。そこに配されているのは、シルベスタインの作品に特有の3つの明るいカラーと複数の形の組み合わせ。すなわち、針と文字盤のインデックスに用いられているレッド、ブルー、イエローというカラーと、三角形、長方形、円形のフォルム、そしてパワーリザーブ表示を立体的に演出する円錐形、立方体、球体である。これらが、下部の控えめなデザインのムーブメント地板とコントラストをなし、見る人の目を引き付ける。

しかしながら、シルベスタインというアーティストの哲学的ともいえるアプローチが最もはっきりと表れているのは、サブダイヤルの凹曲面であろう。ドーム型のサファイアクリスタルとテンプブリッジが外部の衝撃から時計を保護しているのに対し、この凹面を描いたサブダイヤルはまるで、宇宙を司る「永遠の時」を時計の中に引き込んでいるかのように見える。そしてその「時」は、ムーブメントの中で形を変え、完全に独立した2つのタイムゾーンに表示されるのだ。必然的に針も凹形で、これらのダイヤルの美しいカーブを見事に引き立てている。

シルベスタインは次のように語る。*「私がLM1に心惹かれた理由は、テンプ 、つまり時間を細かく分割する機構を目立つようにデザインすることで、永遠の時というものが、人間に利用可能なものへと変換される様子を示すことができるからでした。」*

彼が確信していたのは、テンプは時計の「心臓部」であるため、文字盤側から見えるレギュレーターの姿を遮るべきではなく、また「永遠の時」が時刻として表示されるに至るのを妨げるべきではない、ということだった。さらに、オリジナルのLM1の2つのアーチ型ブリッジがあまりにも優雅で、時刻表示からそちらに視線が奪われるほどだと感じていた。そして2年間におよぶ開発の結果、テン輪を支えるために必要な極めて優れた耐性を備えた、単一の透明なサファイアクリスタル製テンプブリッジを製作。全ての労力を注ぎ込んで、エレガントなフォルムの部品を、目につかないような透明なコンポーネントとして設計したのである。

*「LM1のような独創的なタイムピースをベースとした製作は、とても楽しい体験でした。空中に浮いているテンプとアーチ型のブリッジを見ていると、まるでSF映画のセットで仕事をしているような気分になりましたから。」*

2つのリューズもシルベスタインによって魔法のように巧みに設計されている。重なり合った2つの三角形で形作られる6つの角を持つ個性的な星型のリューズにより、心地よい感触で巻き上げを行うことができる。

**LM1 Silberstein（LM1 シルベスタイン）は、レッドゴールド製、チタン製、ブラックPVDコーティングのチタン製の3モデル x 12個の限定品。**

**LM1 Silberstein 技術詳細**

**インスピレーションと製作:** アラン・シルベスタインは、LM1をベースとした「パフォーマンスアート」モデルを製作するにあたって、ある重要な目的を定めていた。それは、宇宙を司る「永遠の時」を時計の中に取り込み、その「時」を、ムーブメントの中で人間の規準での「時刻」に変換することだ。この目的を実現するため、オリジナルのLM1のドーム型サブダイヤルに代わって、「永遠の時」を捉える凹面を描いたサブダイヤルを着想した。また、オリジナルのLM1の2つのアーチ型テンプブリッジの代わりに、単一の透明なブリッジを採用することで、時刻表示の完璧な視認性を確保するとともに、文字盤側からエスケープメントが見えるようにした。

凹形の針のカラーとフォルムには、芸術的なデザインを実現するためにシルベスタインの入念で実際的なアプローチが表れている。時計で時刻を読み取る際に最初に必要となる情報は通常、「時」表示である。そこで、時針の面積を大きくして（三角形のフォルム）、明るいカラー（レッド）を採用する一方で、分針はそれよりも細くして、カラーをブルーにした。

レッドとブルーの針、そしてイエローのインデックスマーカーというサブダイヤル上の3つのカラーは、立体的なパワーリザーブ表示を構成する3つのフォルム、すなわちブルーの円錐形、レッドの立方体、イエローの球体にも反映されている。

また、（重なり合った2つの三角形で構成される）6つの角を持つリューズも、このパフォーマンスアート・モデルがコラボレーションの成果であることを示している。すなわち、このリューズにはシルベスタイン特有のフォルムとカラーが採用されているが、その一方でバトルアックス（戦闘用の斧）をモチーフにしたMB&Fのロゴが施されているのだ。

シルベスタインは、見る人の視線をさりげなくダイヤル上の主要部分に引き付けるように、コントラストと素材に工夫をこらしている。つまり、針は明るいカラーで光沢に富んでいるのに対し、その背景となるダイヤルとムーブメント地板は控えめなカラーで、マットな仕上げが施されている。

*「私は素材や仕上げを色々と工夫するのが好きなのです。マットであるほど、高度な研磨が際立つのです。」*

**エンジン：**LM1の独創的な三次元ムーブメントはマキシミリアン･ブッサーが描いたスケッチをクロノード社のジャン＝フランソワ･モジョン氏と彼のチーム、および独立した時計デザイナーであるカリ・ヴティライネンによって、MB&Fのために特別に開発された。テン輪とゼンマイはあらゆる機械式時計のムーブメントの核をなし、正確に時を刻む役割を司っている。長年ブッサーは、大きくゆったりと振動する（現在一般的な28,800振動ではなく18,000振動）アンティークの懐中時計のテン輪に魅せられてきた。したがってここが彼の想像力豊かなイマジネーションを解き放つ出発点となったのは当然だった。それでも驚かされるのは、テン輪をムーブメントの裏に隠れた従来の位置からムーブメントの表に移動させたばかりか、文字盤の上に浮かせるという驚くべき伝統の再解釈を彼が行ったことだ。

LM1の調整機能の配置は前衛的と見なされるかもしれないが、MB&F専用に特別に開発された調整ネジ付きの直径14ミリの大きなテン輪や、ブレゲ・オーバーコイル付きのゼンマイ、可動式のヒゲ持ちによって「伝統」が守られている。

LM1のムーブメントのもう1つの特別な機能は、2つのタイムゾーンを全く独立してセットできることである。圧倒的多数のデュアルタイム･ムーブメントでは独立して調整できるのは時間だけで、30分をセットできるものもごくわずかにすぎない。LM1では、どちらの文字盤の時間も分も、ユーザーの望むとおりの時間にセットすることができる。

世界初LM1の垂直のパワーリザーブ表示は、よりスリムな複雑時計や、頑丈でより長持ちする機械にも対応できる、セラミック･ベアリング付きの超薄型差動歯車で駆動している。

**文字盤と表示**：2つの文字盤の歩度は、一度セットすれば2つの時間が完璧に同期し続けるように同じレギュレーター（テンプと脱進機）で制御されている。2つの文字盤の時間と分は、それぞれのリューズで望みどおりの時間にセットすることができる。

宙に浮いているテンプの三次元デザインを引き立てるのが、ムーブメントの上に浮かぶ明るいカラーの針を持った凹型デュアル文字盤だ。そして、文字盤の純粋な美しさを引き立てるべく、目障りなネジを使わずに巧みに表面下で固定している。

**機密仕上げと歴史の正統性：**時計作りの名匠カリ･ヴティライネン氏は、LM1のムーブメントの歴史的スタイルや仕上げに忠実に従うという責任を担った。テンプを浮かせる型破りな設計から始めるという決して容易ではない任務だった。テンプを浮かせる型破りな設計から始めるという決して容易ではない任務だった。

カリ･ヴティライネン氏が特に優れた腕を見せたのは、ムーブメントの背面のサファイアクリスタルの窓から見えるブリッジと地板のスタイルや仕上げである。どちらも優雅な曲線を描く形で、ブリッジの間隔やブリッジ周辺とケースの間隔を伝統に従って広く取ることで、この上なく歴史を忠実に踏襲した。

ムーブメントの裏側では、入念に研磨された皿穴付きゴールドシャトンに埋め込まれた特大のルビーが、フロスト加工の官能的なカーブを持つブリッジと対比され際立っている。ルビーの軸受は、高級アンティーク時計のムーブメントとの歴史的つながりを感じさせる一方、摩耗を低減し、直径の大きな歯車を支え、より多くの潤滑油を保ち寿命を長持ちさせるという実用的な面も兼ね備えている。

**LM1 Silbersteinの技術仕様**

**レッドゴールド製、チタン製、ブラックPVDコーティングのチタン製の3モデル x 12個の限定品。**

**エンジン：**

ジャン＝フランソワ･モジョン（クロノード社）とカリ･ヴティライネンによってMB&F専用にに開発された三次元オロロジカル･ムーブメント

手巻きシングル・メインスプリング･バレル

パワーリザーブ： 45時間

テンプブリッジ： 透明なサファイアクリスタル

テン輪： ムーブメントと文字盤の上に浮く、伝統的な調整ネジ4個を備えた特注の14ミリテン輪

ひげゼンマイ：可動式のヒゲ持ちで留めた伝統的なブレゲ･オーバーコイル

テンプ振動数： 毎時18,000振動／2.5Hz

部品数：279個

石数：23石

シャトン：ゴールドシャトン（研磨した皿穴付き）

精密仕上げ：全体的に19世紀のスタイルを踏襲した最高級の手仕上げ、傾斜加工を施した内部の縁（手作業）、研磨した縁、手彫り文字；フロスト仕上げ

**機能：**

時と分： 全く独立した2つのタイムゾーンを表示する2つの文字盤; ユニークな垂直のパワー･リザーブ・インジケーター

8時位置のリューズは左の文字盤の時間をセット。4時位置のリューズは右の文字盤の時間をセットし、巻き上げも行う。

**ケース:**

18Kレッドゴールド、グレード5チタン、またはブラックPVDコーティングのグレード5チタン

直径：42.5mm（横） x 17mm（高さ）

部品数：41個

防水性能：30m / 3atm / 90’

**サファイアクリスタル：**

表側の高いドーム型サファイアクリスタル、裏側のサファイアクリスタルはともに両面に反射防止コーティングが施されている; サファイアクリスタル製テン輪ブリッジ

**ストラップおよびバックル：**

手縫いのカーフスキンストラップ（ブラック）。レッドゴールド製ケースモデルにはブラックのトップステッチ入り、2つのチタン製ケースモデルにはレッドのトップステッチ入り。

**LM1 Silbersteinを創った「フレンズ」**

コンセプト： マクシミリアン・ブッサー／MB&F

製品デザイン： エリック・ジルー／エリック・ジルー・デザイン・スタジオ

パフォーマンスアーティスト：アラン・シルベスタイン

技術・製造管理： セルジュ・クリクノフ／MB&F

ムーブメント開発： ジャン＝フランソワ・モジョン／クロノード

ムーブメントデザインと仕上げ仕様： カリ・ヴティライネン

研究開発：ギヨーム・テヴナン、ルーベン・マルティネス／MB&F

ホイール：ドミニク・ギュイエ／DMPオルロジュリーSA

テン輪：ドミニク・ローペ／プレシジョン・エンジニアリング

地板とブリッジ：ロドリグ・ボーム／ダマテック

小型部品：イヴ・バンディ／バンディ、ジャン=フランソワ・モジョン／クロノード

ムーブメント手彫り：シルヴァン・ベテックス／グリプト

ムーブメント部品手仕上げ：ジョゼ・ラバルガ／ラバルガ、ジャック＝アドリアン・ロシャ、デニス・ガルシア（C-Lロシャ）

ムーブメント組み立て：ディディエ･デュマ、ジョルジュ･べジー、アン・ギテ、 エマニュエル・メートル／MB&F

社内機械加工：アラン・ルマルシャン／MB&F

品質管理：シリル・ファレ／MB&F

ケース:パスカル・クロズ／オレアド

バックル：エルバスS.A.

文字盤：マウリツィオ・チェルヴェリエリ／ナテベール

針：ウェバー HMS

ガラス：マルティン・シュテットラー／シュテットラー

ストラップ：トリスタン・ギュヨジャナン／クレアシオン・ペラン

化粧箱：オリビエ･ベルトン／ATS アトリエリュックス

製造ロジスティクス：ダヴィド・ラミー、イザベル・オルテガ／MB&F

マーケティング・広報：シャリス・ヤディギャログル、ヴィルジニー・メイラン、 ジュリエット・ドゥル／MB&F

M.A.D. Gallery：エルヴェ・エスティエンヌ／MB&F

セールス：パトリシア・デュヴィラール、フィリップ・オグル／MB&F

グラフィック・デザイン:サミュエル・パスキエ／MB&F、アドリアン・シュルツ、ジル・ボンダラス／Z+Z

製品撮影：マーテン･ファン･デル･エンデ

人物写真：レジス・ゴレ／フェデラル

ウェブサイト：ステファン･バレ／ノール・マニエティック、ビクトール・ロドリゲス／ニメオ

テキスト：イアン･スケラーン／アンダーザダイヤル

**アラン・シルベスタインの経歴：メートルからミクロンへ**

アラン・シルベスタインは、1950年にフランスのパリで生まれた。インテリア・建築および模型製作に関する学位を取得した後、まずパリでインテリアデザイナーとして活躍し、1979年にフランスの時計製造産業の中心地であるブザンソンに移って同じ分野で仕事を続けていた。その後、時計製作に大きな関心を持つようになり、1990年に自らのブランド「アラン・シルベスタイン・クレアシオン」を設立。このブランドは2012年に活動を休止した。

インテリアデザインと時計のデザインには、カラーやテクスチャーの調和の取れた配置など共通点が少なくないが、その規模はかなり異なる。つまりシルベスタインは、メートル単位の作業からミクロン単位のデザインへと転向したのである。

*「作品を制作する時は必ず、型にとらわれない先鋭性を追求しています。それは、作品の中で強調すべき点の本質を見い出すということです。」*

シルベスタインの時計の特徴は、彼の作品に特有の3つの明るいカラー（レッド、ブルー、イエロー）と3つのシンプルな幾何学的フォルム（三角形、正方形/長方形および円形、または立体的なピラミッド型、立方体および球体）、そして洗練された素材と仕上げの組み合わせである。

シルベスタインは、世界で初めてサファイアクリスタル製ケースを用いた時計を製作したクリエイターであり、また「オート・オルロジュリー（高級時計製造）」の世界で、明るいカラー、そして従来とは異なる素材を採用して遊び心を発揮したパイオニアでもある。

 *「カラーは確かに重要ですが、カラーと素材を切り離して考えることはできない、という点を忘れてはならないと思います。また、仕上げによって色彩の感性を発揮することも可能です。」*

シルベスタインは現在、独立した時計デザイナーとして活躍している。2009年に初めてMB&Fとのコラボレーションを行い、バウハウスからヒントを得たパフォーマンスアート・モデル、HM2.2 Black Box（HM2.2 ブラックボックス）の製作に携わり、以来、長年にわたってMB&Fのフレンドであり続けている。

**MB&F－コンセプトラボの誕生**

2015年、MB&Fは10周年を迎えます。史上初のオロジカル・コンセプトラボが経験した豊かな10年です。MB&Fを一躍有名にした、かの有名なオロロジカル・マシンとレガシー・マシンを構成する11個のキャリバーが象徴する、極限の創造性の10年と言えます。

15年間高級時計ブランドのマネージメントに徹したマキシミリアン・ブッサーは、2005年にハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任し、MB&F（マキシミリアン・ブッサー＆フレンズ）を設立。MB&Fは、ブッサー氏が尊敬しコラボレーションを共に楽しむ才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプトの腕時計デザインと小規模の製作を行う、アートとマイクロエンジニアリングのラボです。

2007年、MB&Fは初のオロロジカル・マシンHM1を発表。HM1の彫刻のような3次元ケースと美を追求して仕上げられたエンジン（ムーブメント）は、奇抜とも言えるその後の同社オロロジカル・マシンの基準となりました。HM2、HM3、HM4、HM5、HM6、そしてHMX。すべては時刻を告げるためだけのマシンではなく、自らが時を知るマシンなのです。

2011年にはMB&Fはラウンドケースのレガシー・マシン・コレクションを世に送り出しました。MB&Fの視点から言えばよりクラシカルなこのラインアップは、現代的な芸術作品に仕上げる上で、過去の偉大なオロロジカル革新者が生み出した複雑エンジンを新たに解釈し直し、19世紀の優れた時計製造技術を讃えています。LM1とLM2に続いて発表されたLM101は、完全自社開発したムーブメントを搭載している初のMB&Fマシンとなりました。2015年は完全一体型のパーペチュアルカレンダーが特徴のLegacy Machine Perpetualを発表。MB&Fは、現代的かつ非常に斬新なオロロジカル・マシンと、時計製造の歴史をインスピレーションの源とするレガシー・マシンを交互に発表しています。

MB&Fは、オロロジカル・マシンとレガシー・マシンの他にも、リュージュとのコラボレーションによる宇宙時代を象徴したオルゴール（MusicMachines 1、2、3）や、宇宙ステーションをイメージしたフォルムの独特な置時計（StarfleetMachine）、クモをモチーフにした時計 (Arachnophobia)、さらに2つのロボットクロック（MelchiorとSherman）を製作しています。

またMB&Fの軌跡における、その革新的な本質を証明する受賞機会もありました。すべてを網羅することはできませんが、2012年の「ジュネーブ時計グランプリ」では、レガシー・マシンNo.1が「パブリック賞（オロロジーファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」を受賞。2010年の同グランプリでは、HM4サンダーボルトで、「最優秀コンセプト＆デザインウォッチ賞」を受賞。そして2015年には、HM6スペースパイレートが、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最高位の「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しました。